

(款) 4 衛生費

(項) 1 保健衛生費

1. 「第2期健康くるめ21」計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を図るため、生活習慣病の発症予防と重症化予防などを基本視点として、身体活動・運動の推進やけんしんの受診率向上などの取り組みを一体的に推進する健康のびのびプロジェクト事業を実施した。なお、新型コロナウイルスの影響により、ラジオ体操等の市民参加型イベントについては開催を中止したが、けんしんについては開始時期を延期、感染防止対策を徹底したうえで実施することでコロナ禍における過度な受診控えがおきないように取り組んだ。
2. 救急医療体制の充実を図るため、在宅当番医制（医科・歯科）運営の委託及び病院群輪番制の運営費助成を行った。また、夜間の小児救急医療体制整備のため、久留米広域市町村圏事務組合が実施する久留米広域小児救急医療支援事業にかかる運営費の一部を負担した。久留米市ドクターカー事業については、事業の安定的かつ継続的な実施のため令和2年5月から運行時間を8時45分～17時30分に短縮し、令和2年11月からは久留米大学病院に加えて聖マリア病院が事業に参加する運行体制で実施した。
3. 妊娠期から乳幼児期までの健康保持と増進のため、母子健康手帳の交付、マタニティ教室、離乳食教室、4か月児・10か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査、妊産婦健康診査、妊婦歯科健康診査、新生児聴覚検査並びに妊産婦・新生児訪問を実施した。
4. 不妊治療（体外受精・顕微授精）の経済的負担を軽減するため、令和3年1月治療終了分より助成上限額の拡充や所得制限の撤廃等を行った。
5. 新型コロナウイルスの流行下において、不安を抱える妊婦への分娩前のウイルス検査費助成、育児等支援サービスの利用補助、オンラインによる保健指導等の妊産婦への寄り添った支援を総合的に実施した。
6. 妊娠期から子育て期にわたるまでの、母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するため、地域子育て支援拠点等へ出張相談を実施した。また、子ども専用相談ダイヤル「結らいん」にて子ども自身からの相談に対応するため、事業の周知のために市内の学校にチラシ及びカードを配布した。さらに、複合的な課題を抱えるケース相談に対応できる人材を育成するため、スーパーバイザーの配置を行い、職員のスキルアップに取り組んだ。
7. 生きづらさを抱えた市民が身近な場所で臨床心理士等に相談できるよう開設した「こころの相談カフェ」について、自殺者が多い中高年男性が利用しやすいよう夜間・日曜日の相談窓口を拡充し、相談体制の充実を図った。さらに、休校明けに小学生・中学生・高校生へ若年者向けの相談カードを配布し、保護者・教職員向けに子どものこころのケアに関するチラシを配布するとともに、小学生・中学生・高校生を対象として、悩みを抱えたときの対処法や相談先情報を伝える「SOSの出し方教育」を実施し、子ども・若年者向けの自殺対策に取り組んだ。

8. 生活習慣病予防健康診査、各種がん検診（胃がん、子宮頸がん、乳がん、大腸がん、肺がん・結核、前立腺がん）、骨粗しょう症検診、歯周疾患検診、胃がんリスク検査を実施した。
9. ロタウイルス胃腸炎の発症、重症化の予防、感染拡大防止のため、ロタウイルスワクチンの公費助成を実施するとともに、風しんの流行を防ぐため、風しん抗体検査を実施し、抗体値が低いと判定された方を対象に予防接種を実施した。また、骨髄移植等により一度接種したワクチンの効果が失われた20歳未満の者に対し、再接種費用の助成を実施した。
10. 新型コロナウイルスへの対応として、コールセンターの設置による相談対応、ホームページやチラシによる予防啓発等に取り組んだ。また、感染拡大を防ぐため、疑い患者や濃厚接触者に対するPCR検査等の実施体制の強化や積極的疫学調査の実施に取り組むとともに、入院患者の受け入れに加えてワクチン接種に協力する医療機関等に対する支援を実施した。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保健衛生総務費	千円 1,708,398	千円 233,216	千円	千円 200,997	千円 1,274,185

◎（公財）久留米市生きがい健康づくり財団助成	70,590千円
◎健康のびのびプロジェクト事業	4,397千円
○がん検診等コールセンター事業（予約受付・再発行受付等）	3,828千円
◎健康ウォーキング事業	250千円
◎久留米赤十字会館プール整備・運営助成	35,070千円
◎難病患者地域支援対策推進事業	46千円
◎自殺対策事業	5,512千円
○こころの相談カフェ運営委託	3,423千円
○子ども・若者自殺対策	916千円
◎健康増進対策費	872千円
◎母子健康教育事業（翌年度繰越額250千円）	24,907千円
○産後ケア事業	6,862千円
○産前産後サポート事業	488千円
○1歳児歯科健康診査事業	8,688千円
◎乳幼児等健診事業	345,317千円
○乳幼児健康診査	72,870千円
○妊婦健康診査	233,840千円
○妊婦歯科健康診査	3,109千円
○産婦健康診査	17,850千円
○新生児聴覚検査	4,748千円

◎新生児等訪問事業（翌年度繰越額 500 千円）	7,528 千円
◎子育て世代包括支援事業	1,119 千円
◎未熟児養育医療給付事業	17,136 千円
◎小児慢性特定疾病医療給付事業	68,990 千円
◎育成医療給付事業	3,585 千円
◎特定不妊治療費助成事業	83,402 千円
◎妊産婦総合支援事業	2,382 千円
○不安を抱える妊婦への分娩前のウイルス検査	218 千円
○育児等支援サービスの提供	1,576 千円
○オンラインによる保健指導等の実施	588 千円
◎小児慢性特定疾病対策事務事業費	1,364 千円
◎若年者在宅ターミナルケア支援事業	111 千円
◎救急医療施設運営費等助成	53,750 千円
◎小児救急医療事業	10,410 千円
◎地域医療連携事業	21,478 千円
○地域医療連携推進事業費補助金	771 千円
○ドクターカー運行事業費負担金	20,707 千円
◎医師会等助成	3,488 千円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
予 防 費	千円 2,078,536	千円 542,086	千円	千円 3,894	千円 1,532,556

◎予防接種事業 1,010,961 千円

種 別	実施人員（人）
B C G	2,579
不活化ポリオ	1
日本脳炎	11,574
四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）	10,312
二種混合（ジフテリア・破傷風）	2,517
麻しん風しん混合（MR）	4,923
麻しん風しん混合（MR）（成人）	621
風しん 第5期	900
季節性インフルエンザ	58,652
子宮頸がん予防	307
ヒブ	10,431
小児用肺炎球菌	10,193
水痘	5,174
B型肝炎	7,618
ロタウイルス	2,324
高齢者の肺炎球菌	4,066
おたふくかぜ（任意）	2,168
ロタウイルス（任意）	1,791

- ◎新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 2,024千円  
◎新型コロナウイルスワクチン接種事業（翌年度繰越額 553,572千円） 48,356千円  
◎健康増進(健康診査)事業 402,866千円

種 別	健 康 教 育	健 康 相 談	生活習慣病予防健康診査	胃 がん 検 診
実 施 数	85回	25回	1,296人	2,954人

種 別	大腸がん検診	肺がん検診・結核検診	子宮頸がん検診	乳 がん 検 診
実 施 数	16,909人	22,164人	12,051人	4,745人

種 別	前立腺がん検診	骨粗しょう症検診	歯周疾患検診	胃がんリスク検査
実 施 数	6,282人	1,397人	922人	852人

- ◎結核公費負担医療費給付事業 7,072千円  
◎感染症公費負担医療給付費 42,660千円  
◎感染症予防対策事業（翌年度繰越額 57,636千円） 241,012千円  
○コールセンター設置・運営委託 43,182千円  
○高齢者施設・保育施設等従事者へのPCR検査事業 62,064千円  
○新型コロナ地域外来・検査センター運営事業 31,113千円  
○新型コロナ保険適用検査公費負担 66,626千円  
◎感染症発生動向調査事業 132,953千円  
○PCR検査手数料 127,115千円  
◎特定感染症予防対策事業 30,254千円  
◎新型コロナウイルス感染症協力医療機関支援事業（翌年度繰越額 97,000千円） 117,000千円

目	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
環 境 衛 生 費	千円 76,268	千円 551	千円	千円 20,965	千円 54,752

- ◎斎場施設維持補修事業 6,119千円  
◎斎場周辺環境整備事業 699千円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
保健センター費	千円 145,408	千円 1,400	千円	千円	千円 144,008

◎城島保健福祉センター費	65,869 千円
◎北野保健センター費	68,390 千円
◎田主丸保健センター費	4,996 千円
◎南部保健センター費	5,066 千円

(款) 4 衛生費

(項) 2 清掃費

1. 温室効果ガス削減と施設維持費の抑制の両立に向けて、環境部庁舎ZEB化改修を実施した。令和元年に実施設計、令和2年に改修工事を行い、同年7月に既存公共建築物で全国初となる「ZEB」の認証を取得、令和3年1月にZEB化改修工事を完了した。
2. 食品ロス削減啓発のため、消費者が商品をすぐに食べる場合には、商品棚の手前から購入することをPOPやポスターを使って促す「てまえどり」キャンペーンを市内のスーパーやコンビニで行った。
3. 環境に配慮した循環型のごみ処理をめざし、宮ノ陣、上津クリーンセンターの南北2ヶ所での中間処理体制によりごみの適正処理を行った。また、上津クリーンセンターの施設について、ごみ投入扉等のプラント設備の修繕を実施するとともに、次期施設の整備に向けた基本計画の策定に着手した。
4. 新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、新しいごみ収集支援システムを導入しごみ収集業者との連絡・協議を電子化した。また、令和3年度からは、粗大ごみのオンライン申込みと手数料の電子決済も可能となった。
5. 産業廃棄物の適正処理を推進するため、パトロールや監視カメラの設置などの実施により不法投棄の防止に努めるとともに、産業廃棄物処理事業者や排出事業者等への立入検査などによる監視・指導を行った。また、PCB廃棄物の適正処理に向けて、事業者に対して啓発文書の送付や訪問調査などを行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
清掃総務費	千円 892,594	千円 136,731	千円 67,300	千円	千円 688,563

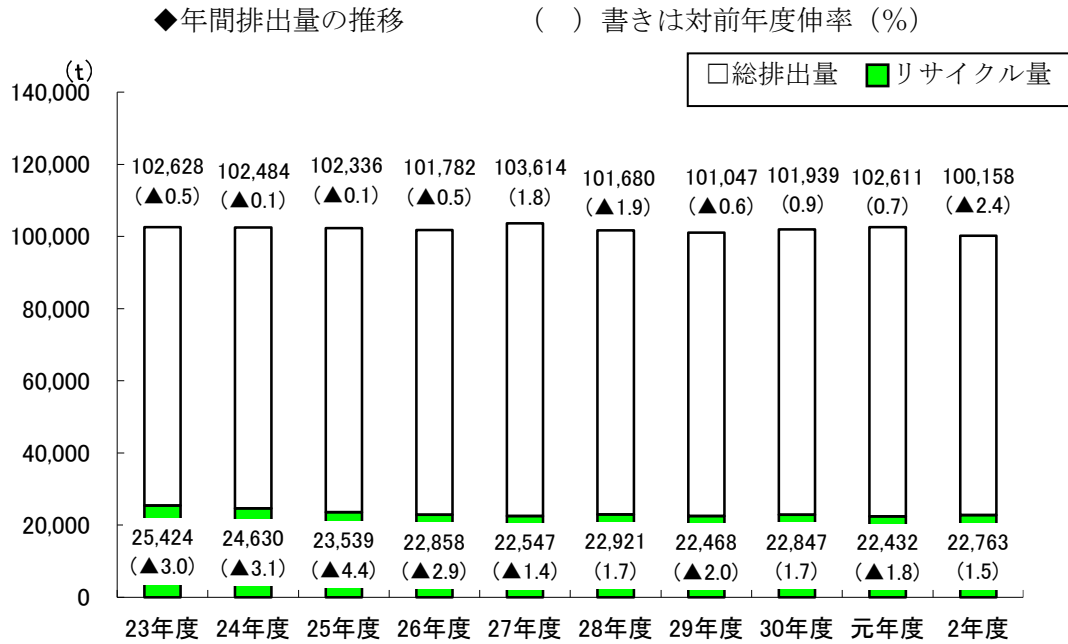
- ◎ごみ減量・リサイクル市民活動支援 17,461 千円
- ◎産業廃棄物適正処理推進事業 6,905 千円
- ◎環境部庁舎ZEB化事業 205,043 千円  
[うち令和元年度繰越事業 13,722 千円]

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
塵芥処理費	千円 3,670,736	千円 68,381	千円 117,800	千円 79,457	千円 3,405,098

- ◎塵芥焼却費（上津クリーンセンター） 928,368 千円
- ◎塵芥焼却費（宮ノ陣クリーンセンター） 660,559 千円
- ◎塵芥焼却関連一部事務組合負担金 379,528 千円
  - うきは久留米環境施設組合 193,183 千円
  - 甘木・朝倉・三井環境施設組合 173,499 千円
  - 八女西部広域事務組合 12,846 千円
- ◎上津クリーンセンター改修事業 126,280 千円
- ◎上津クリーンセンター更新事業（翌年度繰越額 9,240 千円） 6,113 千円
- ◎埋立地関連地域環境整備事業 2,558 千円
- ◎ごみ減量・分別リサイクル推進事業 1,278,054 千円
  - 新ごみ収集支援システム導入事業 30,173 千円
- ◎リサイクル品利用促進事業 9,278 千円
- ◎指定袋制度（翌年度繰越額 42,616 千円） 182,255 千円  
[うち令和元年度繰越事業 43,274 千円]
- ◎食品ロス・プラスチック廃棄物削減推進事業 1,594 千円
- ◎北部一般廃棄物処理施設地域環境整備事業 9,481 千円

<塵芥収集状況>

- ・人口 304,079人 (3.3.31日現在)
- ・世帯数 138,003世帯 (3.3.31日現在)
- ・年間総排出量 100,158t
- ・年間リサイクル量 22,763t



目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
し尿処理費	千円 379,135	千円	千円 11,100	千円	千円 368,035

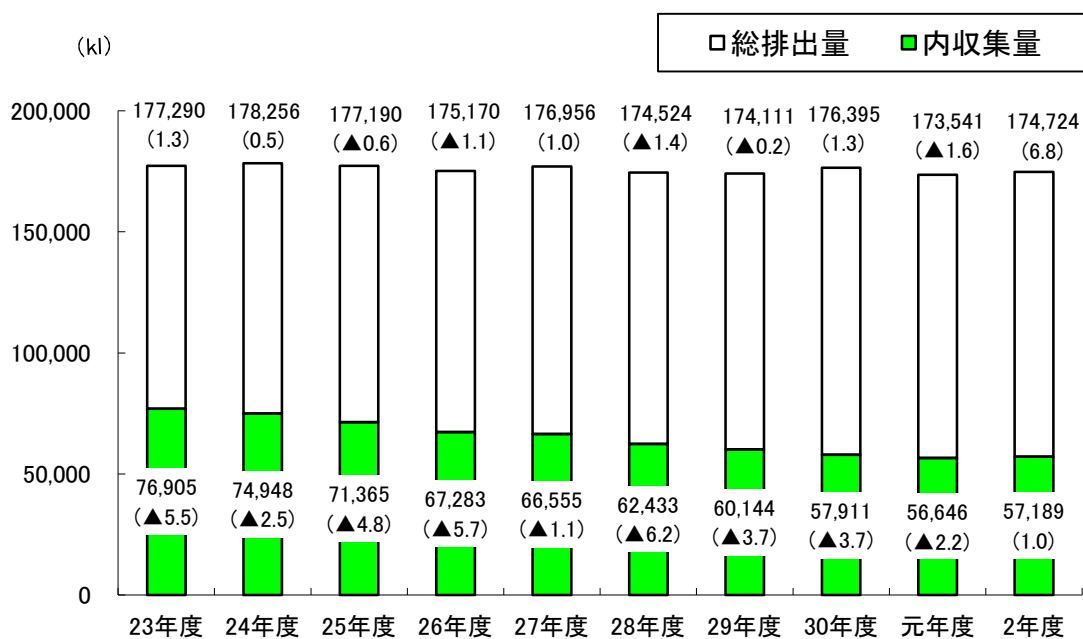
- ◎し尿処理事業 365,126千円
  - うきは久留米環境施設組合負担金 81,092千円
  - 両筑衛生施設組合負担金 23,431千円
  - 清掃事業協同組合助成 1,604千円
- ◎し尿取水場撤去事業 12,405千円

<し尿処理状況>

・人口	304,079人	(3.3.31日現在)	・汲取収集人口	24,029人
・世帯数	138,003世帯	(3.3.31日現在)	・浄化槽汚泥収集人口	50,057人
・年間総排出量	174,724kl		・収集世帯数	31,267世帯
・年間総収集量	57,189kl		・自家処理量	159kl

◆年間排出量の推移

( ) 書きは対前年度伸率 (%)



(款) 4 衛生費

(項) 3 環境対策費

1. 第二次久留米市環境基本計画の計画期間終了に伴い、次期計画（令和3年度～令和7年度）の策定を行うとともに、「久留米市環境基本計画に基づく行動計画」に掲げた事業を着実に推進した。

2. 「久留米市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」に基づき、市域内の市民、事業者等の活動により排出される温室効果ガスの削減に取り組むとともに、地球温暖化対策に資する国民運動「COOL CHOICE」に連動し、市民・事業者への周知及び環境配慮行動の促進を図った。また、自立分散型エネルギーシステム導入経費の一部を助成することで、住宅の低炭素化を促進し、更なる環境負荷の低減を図った。

「久留米市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に掲げた、温室効果ガス削減目標達成に向け、国補助金を活用し、空調改修が予定されている既存公共施設のZEB化や、ごみ焼却施設等で発電した電力の市有施設供給等の可能性について調査を実施した。



3. 環境問題への関心と理解を深めてもらうことで、市民・事業者の環境配慮活動を促進するため、幼児向け環境教室「こどもエコスタート」を実施した。

なお、環境フェアをはじめとする各種啓発事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、非対面でも啓発が行えるように従来の対面形式ではなく、動画や教材の制作を行うなど「新しい生活様式」への対応を図った。

市民・事業者・行政が協働してポイ捨てごみを取り除くことで環境美化を推進する「くめクリーンパートナー制度」を実施した。

4. 大気汚染状況を把握するため、微小粒子状物質（PM2.5）等の測定を行った。また、河川などの水質汚濁、自動車公害などの実態を調査するとともに、関係法令や協定に基づく事業所に対する立入検査、化学物質による地下水汚染の調査を行うなど、生活環境に関する諸問題の解決に努めた。

5. 水質汚濁防止のため、下水道未整備地域の生活排水対策として、合併処理浄化槽設置費を助成した。

6. 犯罪の未然防止と生活環境の向上を図り、地域における体感治安を高めるため、自治会等が設置する防犯灯について、設置費の補助を行った。また、補助にあたってはLED防犯灯を推奨し、環境負荷の低減を図った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
環境対策総務費	千円 189,801	千円 10,878	千円	千円	千円 178,923

◎環境まなびのまちづくり事業		2,445 千円
○環境教室（動画等制作含む）	1,245 千円	
○市民・市民団体との協働事業	25 千円	
○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業	30 千円	
○環境交流プラザ開催事業	382 千円	
◎環境美化促進事業		699 千円
○環境美化ボランティア推進事業（クリーンパートナー）	599 千円	
◎環境負荷低減行動推進事業（翌年度繰越額 9,035 千円）		98 千円
◎新エネルギー政策推進事業		3,960 千円
○自立分散型エネルギーシステム導入費補助金	3,960 千円	
◎公共建築物ZEB化事業		10,000 千円
○公共建築物ZEB化等可能性調査業務	9,768 千円	
◎自然環境の保全と共生事業		222 千円
◎防犯灯設置推進事業		38,356 千円
○防犯灯設置費助成	36,992 千円	

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
公害対策費	千円 174,104	千円 22,246	千円	千円	千円 151,858

- ◎生活排水処理事業 27,926 千円
    - 合併処理浄化槽設置費助成 22,368 千円
    - 合併処理浄化槽維持管理費助成 5,150 千円
  - ◎公害対策事業 32,723 千円
    - 水質汚濁防止対策事業 12,551 千円
  - ◎特定地域生活排水処理事業特別会計繰出金 113,000 千円
- ※特定地域生活排水処理事業特別会計については159ページに掲載

(款) 4 衛生費

(項) 4 上水道費

1. 水道事業経営の基盤を強化し、広域上水道の充実及び水道施設の耐震化を図るため、福岡県南広域水道企業団及び三井水道企業団に対する負担金を支出した。
2. 北野地域の水道使用者（三井水道企業団より供給）に対し、本市上水道事業との均衡を図るため、交付金を支出した。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
上水道費	千円 294,423	千円	千円 169,200	千円	千円 125,223

- ◎水道広域化事業 271,591 千円
  - 福岡県南広域水道企業団負担金 247,205 千円
  - 三井水道企業団負担金 24,386 千円
- ◎水道料金均衡化事業 22,832 千円

## (款) 5 労働費

## (項) 1 労働諸費

1. コロナ禍での域内の事業者や求職者に関する労働環境面について、国や県、支援機関等と情報共有し、連携等をしながら必要な事業を実施した。
2. 就労支援として、久留米市ジョブプラザに就労サポーターを配置し、求職者への就職相談対応、関連窓口の紹介、職業訓練情報の提供等を行った。あわせて、ハローワークや新たに設置されたひとり親の専門相談ブースとの連携により、総合的な就労支援窓口としての機能の充実を図った。また、市内の子育て支援センター等を巡回して子育て中の人の就職活動をサポートする相談事業を実施した。
3. 新型コロナウイルス対策として、雇用調整助成金の申請相談窓口の設置や、申請書類の作成費用の補助を実施し、当該助成金の活用による雇用の維持を図った。
4. 経済団体・教育機関・公的機関等で構成する久留米市雇用・就労推進協議会では、オンラインを活用した合同会社説明会の開催などによる市内企業の魅力発信を行い、新規学卒者をはじめ、求職中の方の市内企業への就労促進を図った。また、働きやすい職場環境の整備を図るため、働き方改革の推進などに取り組んだ。
5. 地域のニーズに応じた職業訓練事業を実施する(職)久留米地区職業訓練協会に対して、事業費及び運営費助成を行った。令和2年度においては、高速通信回線の設置等によるICT人材育成や災害対策に係る環境整備を支援した。
6. 中小企業で働く勤労者の福利厚生の上昇を図るため、(公社)久留米広域勤労者福祉サービスセンターへの運営費助成を行った。
7. 中高年齢労働者福祉センター(サンライフ久留米)の解体工事に向けた設計委託を行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
労働諸費	千円 261,662	千円 40,333	千円 3,700	千円 33,660	千円 183,969

**多様な人材が活躍する労働環境の整備**

◎(職)久留米地区職業訓練協会助成	54,814千円
○久留米地区職業訓練協会補助金	26,916千円
○久留米地区職業訓練協会環境整備補助金	21,113千円
○久留米地区職業訓練協会ICT活用講座実施補助金	1,400千円
◎特定求職者雇用対策事業	11,913千円
○障害者就業支援事業	4,659千円

◎雇用・就労促進事業		8,321 千円
久留米市雇用・就労推進協議会補助金		
○合同会社説明会	5,533 千円	
○地元企業魅力発信事業	322 千円	
◎技能奨励者・雇用優良事業所表彰事業		1,251 千円
◎若年者雇用安定促進事業		5,128 千円
○若年者就職支援事業（福岡県若者しごとサポートセンター 筑後ブランチ）	5,128 千円	
◎労働相談の充実		19,175 千円
○就労サポーター事業	5,780 千円	
○雇用調整助成金申請等支援事業	13,086 千円	
◎ワーク・ライフ・バランス促進事業		740 千円
◎（公社）久留米広域勤労者福祉サービスセンター助成		7,825 千円
◎勤労者等貸付金事業		30,000 千円
◎勤労者福祉推進団体の指導育成		969 千円
◎中高年齢労働者福祉センターの管理		2,188 千円
○中高年齢労働者福祉センター解体工事設計委託	1,250 千円	
◎同和対策事業		404 千円
<b>高齢者の社会参加・参画の推進と生きがいづくり</b>		
◎（公社）久留米市シルバー人材センター助成		34,181 千円
<b>男女の自立と男女共同参画の推進</b>		
◎女性労働者の活躍促進事業		2,061 千円
○子育て中の人のためのしごと相談カフェ事業	1,214 千円	
○女性労働者活躍促進事業	847 千円	

1. 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う入国制限等による農業分野での労働力不足を支援するため人材確保や高性能省力機械等導入に係る支援を行うとともに、消費や価格の低迷による影響を受けた生産農家を支援するため、花き・植木の需要創出や道の駅く めにて販売会の開催、福岡天神地区での動画による久留米産農産物のPR、野菜・花きの次期作や和牛等の再生産に必要な支援を行った。また、「新しい生活様式」に対応するため農作業員間の感染防止、人との接触機会を減らすスマート農業を推進した。
2. 「魅力ある農業都市・久留米の発展」を全体目標に掲げた「第3期久留米市食料・農業・農村基本計画」に基づき、各事業を実施した。
3. 農地法その他法令に基づき、農地の権利移動や転用等の業務を行うとともに、農地移動適正化あっせん事業、農地中間管理事業を実施し、農業生産力の増進と農業経営の合理化を図り、農地の有効利用と利用集積を推進した。
4. 効率的で安定的な農業経営体の育成を目指し、認定農業者や女性農業者等を対象とした経営研修会の開催、集落営農組織の法人化支援や法人化後の経営力強化支援等を実施した。また、次世代の担い手を確保・育成するため、就農前から就農後の営農定着までの一貫した支援を実施した。
5. 経営所得安定対策など国事業を活用した持続可能な水田農業経営の実現に取り組んだ。
6. 「第3次久留米市食育推進プラン」に基づき、農業・農産物への理解を促進する各事業を実施した。
7. 久留米産農産物のPRを行うため、各団体と連携し、商業施設で販売会等を開催するとともに、6次産業化に取り組む農業者の商品開発や販路拡大に対して支援を行った。
8. 競争力のある産地の育成を目指し、産地生産基盤パワーアップ事業や活力ある高収益型園芸産地育成事業、水田農業担い手機械導入支援事業等により、生産施設や機械等の整備を支援した。
9. 耳納北麓地域の地域資源を活用し、農業生産以外の農家所得の向上を図るため、農業体験事業（くる農）の実施や、フルーツ観光農園の機器等の導入支援、農家民泊の推進を行った。
10. 防災重点農業用ため池に係る緊急時の迅速な避難行動に繋げるためにハザードマップを作成した。また、耐震調査を行い、ため池機能の適切な維持・補強に向けた対策に取り組んだ。
11. 県営土地改良事業によるほ場整備の推進や農業用施設の長寿命化対策、農道・用排水路・ため池の整備を実施し、持続可能な農業生産基盤の確立を図った。また、農道等にガードレール等の安全施設を設置し、安全・安心な農村環境づくりを推進した。

12. 多面的機能支払交付金制度を活用し、市民との協働により地域資源の適切な管理を行うことで、農業・農村が持つ多面的機能の発揮と農村地域の活性化を図った。

13. 大雨等で被害を受けた農業者に対して、農業機械・施設災害復旧支援事業等により、営農再開に向けた支援を行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業委員会費	千円 124,610	千円 12,157	千円	千円 1,757	千円 110,696

◇農地移動転用関係

- ・農地法第3条許可（農地の権利移動） 207件
- ・農地法第4条許可（市街化区域外の農地転用） 45件
- ・農地法第4条届出（市街化区域内の農地転用） 44件
- ・農地法第5条許可（市街化区域外の権利移動を伴う農地転用） 177件
- ・農地法第5条届出（市街化区域内の権利移動を伴う農地転用） 103件
- ・農地法第18条通知（農地賃貸借の合意による解約） 246件

◇農地中間管理機構による農地売買等事業 140件 44.4万円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業振興費	千円 1,541,896	千円 1,276,074	千円 1,400	千円 11,281	千円 253,141

◎食料・農業・農村基本計画策定事業 145千円

◎地域農業活性化事業 22,158千円

○地域農業振興補助金 20,072千円

◎九州大学農学連携事業 501千円

◎将来を担う農業者育成事業 59,475千円

○農業次世代人材投資事業費補助金 55,303千円

○農業実践研修支援事業費補助金 1,203千円

○担い手育成総合支援協議会補助金 99千円

○農業労働力確保緊急対策事業費補助金 24千円

○緊急短期雇用創出事業費補助金 1,091千円

◎担い手経営力強化事業 1,233千円

◎農業担い手連携強化事業 824千円

◎水田農業等総合対策事業 45,275千円

○水田農業担い手機械導入支援事業費補助金 44,235千円

◎経営所得安定対策事業 38,526千円

◎環境保全型農業直接支払事業 7,733千円

◎園芸農業等総合対策事業（翌年度繰越額 481,177 千円）		1,135,055 千円
[うち令和元年度繰越事業 341,089 千円]		
○活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金	271,008 千円	
○産地生産基盤パワーアップ事業費補助金	75,012 千円	
○農業機械・施設災害復旧支援事業費補助金	452,232 千円	
○被災園芸産地種苗等支援事業費補助金	50,964 千円	
○強い農業・担い手づくり総合支援交付金	1,693 千円	
○農業労働力代替緊急支援事業費補助金	270,178 千円	
○花き等生産安定緊急支援事業費補助金	6,311 千円	
◎スマート農業推進強化事業（翌年度繰越額 18,323 千円）		69,384 千円
○スマート農業推進強化事業費補助金	69,384 千円	
◎植木・花き振興対策事業		4,710 千円
◎フラワーエール事業		6,628 千円
○フラワーエール事業費負担金	6,628 千円	
◎フラワー都市交流事業		100 千円
◎久留米つつじ振興対策事業		4,906 千円
○久留米つつじ植栽再整備業務委託	4,709 千円	
○久留米つつじまつり補助金	197 千円	
◎地域特産物普及推進対策事業		1,117 千円
◎荒廃農地対策事業		4,000 千円
◎農地中間管理事業		1,248 千円
○農地集積・集約化対策事業費補助金	610 千円	
○担い手への農地集積対策事業費補助金	638 千円	
◎中山間地域等直接支払事業		11,016 千円
◎農業都市ブランド力向上事業		6,980 千円
○「農業都市・久留米」の魅力発信事業	5,611 千円	
○農業・農産物の魅力発信事業	1,369 千円	
◎地産地消推進事業		407 千円
◎農地流動化促進対策事業		5,744 千円
◎食育推進事業		1,033 千円
◎体験交流促進対策事業		5,493 千円
○学童農園設置事業費補助金	3,866 千円	
◎農業経営多角化支援事業		1,519 千円
○農商工連携・6次産業化推進事業	1,519 千円	
◎農業体験・緑花木情報発信事業		8,715 千円
○農家民泊推進業務委託	4,616 千円	
○耳納北麓地域農業体験等業務委託	1,313 千円	
○フルーツ観光農園整備促進事業費補助金	2,726 千円	
◎ふれあい農業公園費		28,049 千円

- ◎道の駅活性化促進事業（翌年度繰越額 17,000 千円） 17,434 千円
  - 大型屋根設計業務委託 3,924 千円
  - 道の駅くるめ販売システム再整備事業費補助金 10,108 千円
- ◎（一財）久留米市みどりの里づくり推進機構事業 41,190 千円
  - （一財）久留米市みどりの里づくり推進機構補助金 41,190 千円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
畜産業費	千円 133,180	千円 116,194	千円	千円	千円 16,986

- ◎畜産振興総合対策事業 129,400 千円
  - [うち令和元年度繰越事業 30,097 千円]
  - ふくおかの畜産競争力強化対策事業費補助金 35,999 千円
  - 博多和牛ブランド強化対策事業費補助金 6,246 千円
  - 優良乳用基礎雌牛導入事業費補助金 2,905 千円
  - 酪農ヘルパー利用組合強化対策事業費補助金 2,924 千円
  - 畜産業機械・施設災害復旧支援事業費補助金 39,017 千円
  - 農業労働力代替緊急支援事業費補助金 4,775 千円
  - 和牛等子牛確保対策事業費補助金 35,953 千円
  - 被災畜産農家経営再建支援事業費補助金 1,211 千円

- ◎土づくり推進対策事業 3,644 千円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農地費	千円 803,726	千円 98,981	千円 252,100	千円 3,981	千円 448,664

- ◎農村総合整備事業 146,375 千円
  - 県営農村振興総合整備事業費負担金 142,125 千円
- ◎農業用施設維持管理事業 65,761 千円
- ◎農業施設用地管理事業 8,127 千円
- ◎農地防災事業 114,922 千円
- ◎農業用施設整備事業（翌年度繰越額 7,695 千円） 140,868 千円
  - [うち令和元年度繰越事業 30,196 千円]
- ◎小規模農業用施設整備事業（翌年度繰越額 2,389 千円） 68,490 千円
  - [うち令和元年度繰越事業 8,380 千円]
- ◎防災重点ため池対策事業（翌年度繰越額 8,250 千円） 66,511 千円
  - [うち令和元年度繰越事業 20,172 千円]
  - ため池ハザードマップ作成業務委託 38,329 千円
  - ため池耐震調査業務委託 28,181 千円
- ◎農業集落排水事業特別会計繰出金 182,000 千円

※農業集落排水事業特別会計については158ページに掲載



目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
農業開発費	千円 448,803	千円 246,362	千円 19,600	千円 25,021	千円 157,820

- ◎国営土地改良事業 57,138 千円
  - 国営耳納山麓土地改良事業 9,393 千円
  - 国営筑後川下流域土地改良事業 27,742 千円
  - 国営造成施設管理体制整備促進事業 19,960 千円
- ◎生産基盤整備事業 100,027 千円
  - 県営担い手育成基盤整備事業 48,406 千円
  - 県営土地改良事業 51,564 千円
- ◎生産環境整備事業 291,605 千円
  - 多面的機能支払事業交付金 284,644 千円

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 林業費

1. 水源かん養や土砂災害の防止等森林の公益的機能の強化のため森林の整備や林道の維持管理に取り組んだ。また、「新たな森林経営管理制度」を活用した森林の適正な管理を推進するため市内の森林資源量の解析や森林所有者の意向調査を実施した。

さらに、有害鳥獣による農作物への被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による被害調査や捕獲の取り組み、久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会による侵入防止柵等の整備や捕獲活動に対する支援を行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
林業振興費	千円 76,313	千円 21,568	千円 0	千円 4,991	千円 49,754

- ◎有害鳥獣広域防除対策事業 9,903 千円
  - 鳥獣被害防止総合対策事業費補助金 2,515 千円
  - 有害鳥獣被害防止施設整備費補助金 290 千円
  - 鳥獣被害対策実施隊員報酬 2,568 千円
  - 久留米地区有害鳥獣広域防除対策協議会補助金 4,530 千円
- ◎兜山森林整備事業 2,629 千円
- ◎森林総合整備事業 57,002 千円
  - 荒廃森林整備事業委託 15,999 千円
  - 森林経営管理制度推進業務委託 16,962 千円
  - 森林つつじ公園整備委託 9,600 千円

(款) 6 農林水産業費

(項) 3 水産業費

1. 水産資源の確保、生態系の保全、内水面漁業の振興を目的に、稚魚放流及び資源増殖事業等を実施した。また、令和2年7月豪雨で被害を受けた水産共同利用施設の復旧等の支援を行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
水産業振興費	千円 3,903	千円	千円	千円	千円 3,903

◎内水面漁業振興対策事業

3,903千円

1. 新型コロナウイルスの影響が長期化する中、事業者の事業継続を第一の目的に、市独自の有利な融資制度による資金繰り支援をはじめ、休業要請協力支援金や事業継続給付金による支援を行った。また、新しい生活様式やビジネス環境の変化に対応するために、新しい生活様式対応事業者応援金やテレワーク・クラウドサービス導入補助金、専門家による経営相談など、感染症の状況に応じた切れ目のない支援に取り組むとともに、地場産くるめによる地場産品のEC販売に取り組んだ。
2. 創業機運の醸成及び創業希望者の裾野を広げることを目的として、学生向けの創業セミナーを実施し、市内の創業の一層の活性化に努めた。
3. 総合的な地域経済の振興を図るため、商工団体が行う商品券発行事業への支援の拡充を行い、消費者の購買意欲を喚起することで、新型コロナウイルスの影響に伴う買い控えへの対策を図るなど、地域経済の振興に努めた。
4. 新型コロナウイルスの影響により企業訪問が困難な中、コールセンター・バックオフィス関連サービス企業に進出意向調査を実施し、回答企業や継続立地検討企業に対し、WEBミーティングや訪問を行った。また、コールセンター業や地方進出検討企業を対象とした展示会に引き続き出展するなど、多くの雇用創出・将来性が期待される産業を中心とした誘致活動を展開するとともに、実際の工場・オフィス立地に際してはワンストップによる窓口支援を行った。あわせて、令和4年度に完成予定の、福岡県及びうきは市と連携して造成を行っている久留米・うきは工業団地への残区画の分譲に努めた。
5. バイオ関連分野において福岡県と連携し、国の地方創生推進交付金を活用した理化学研究所との連携事業に取り組むとともに、新型コロナウイルスに対する予防等の研究開発を支援した。また、新たなインキュベーション施設である福岡バイオイノベーションセンターが竣工した。
6. 新型コロナウイルスの影響が長期化する中においても中心部商業の活性化を図るため、中心商店街が感染防止対策を講じた上で取り組むまちゼミや繁盛店づくりなどへの支援を行った。また、久留米たまがる大道芸等のイベントは中止となったものの、まちづくり会社と連携し、商店街の販促活動にあわせた賑わいづくりへの支援や一番街多目的ギャラリーの運営を行ったほか、まちなか地域物産店運営への支援を行うなど、中心市街地の賑わい交流機能の強化を図った。
7. 市が久留米都市開発ビル(株)に対して保有していた債権を処理し、西鉄久留米駅周辺の再整備に向けた環境を整えるため、当該債権及び株式を民間事業者に譲渡した。
8. 新型コロナウイルスに関連する相談を含め、消費生活に係る消費者からの相談・苦情に適切に対応するとともに、悪質商法などの情報収集及び提供を行い、広く注意喚起

することにより消費者の安全・安心の確保を図った。また、コロナ禍で地域等での出前講座が制限される中、新たにオンライン講義用動画を制作し、大学等で活用するなど消費者教育の充実に努めた。計量事業では、適正な計量の実施を確保するため計量法に基づき、特定計量器の定期検査を実施した。

9. 新型コロナウイルスの影響により、ほとんどの祭・イベント等が中止となったが、(公財)久留米観光コンベンション国際交流協会と連携し、ウィズコロナ・アフターコロナに向けた誘客を図るため、HPやフェイスブック等での情報発信や、メディア・情報誌・交通事業者の各媒体を活用したPR事業を行った。
10. 観光需要の回復期を見越した国内外の観光客に対する受入環境の充実・強化を図るため、スマートフォンを活用した多言語での観光案内システムの機能やコンテンツの追加、利便性向上など、ウィズコロナに対応した観光案内機能の充実に取り組んだ。あわせて、デジタルマップの作成やインスタグラムなどでの情報発信及び誘客の取り組みを積極的に展開した。
11. 新型コロナウイルスの影響を受けた宿泊施設や交通事業者等を対象に、今後の事業継続と観光需要の回復期における誘客促進へのスムーズな移行を図るため、感染防止対策等に対する支援を行った。

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
商工業振興費	千円 6,474,303	千円 1,325,771	千円 227,200	千円 4,346,413	千円 574,919

◎プレミアム付商品券事業 14,782千円  
[うち令和元年度繰越事業 14,782千円]

#### 卸売市場の活性化

◎卸売市場事業特別会計繰出金 83,000千円  
※卸売市場事業特別会計については148ページに掲載

#### 新たな価値を生む新産業・新技術の創出育成

◎バイオ産業振興事業 462,619千円  
[うち令和元年度繰越事業 357,955千円]  
○バイオ産業振興事業 94,136千円  
○新インキュベーション施設整備 357,955千円

◎創業支援事業 100,819千円  
○創業支援事業 17,728千円  
○知的財産普及活用推進事業 5,358千円  
○中小企業新規開業資金預託金 74,900千円

◎新産業・新技術支援事業 53,272千円  
○産業技術振興事業 53,147千円

## 多様な地域産業の振興

◎中小企業金融対策事業	4,502,038 千円
○中小企業融資制度預託金	4,154,500 千円
○信用保証協会保証料減率補填金	31,396 千円
○信用保証協会等損失補償金	4,142 千円
○新型コロナウイルス感染症対策利子補給金等基金積立金	312,000 千円
◎中小企業融資利子・保証料補給金	11,337 千円
◎中小企業共同事業促進助成	2,103 千円
◎商工指導機関助成	63,924 千円
◎地場産業総合振興事業	30,749 千円
◎地域企業育成事業（翌年度繰越額 30,000 千円） [うち令和元年度繰越事業 89 千円]	112,269 千円
○IT活用促進事業	41 千円
○事業継続力強化促進奨励金	46,500 千円
○テレワーク・クラウドサービス導入支援補助金	33,054 千円
○オンライン商談コンテンツ作成支援補助金	20,144 千円
○中小企業経営改善支援事業	8,336 千円
◎中小企業事業継続支援事業（翌年度繰越額 418,050 千円）	573,903 千円
○休業要請協力支援金	136,500 千円
○事業継続給付金	225,450 千円
○新規創業者事業継続給付金	6,900 千円
○新しい生活様式対応事業者応援金	200,960 千円
○事業継続緊急支援金	1,800 千円

## 地域経済を支える産業の集積

◎産業振興奨励金	165,430 千円
◎企業立地促進資金利子等補給金	1,728 千円
◎企業誘致推進事業	3,818 千円
◎新産業団地整備事業	71,007 千円

## 海外ビジネス交流の促進

◎海外ビジネス展開促進事業（翌年度繰越額 200 千円）	197 千円
------------------------------	--------

## にぎわいと憩いを創出する場と機能の整備

◎地域商業支援事業（翌年度繰越額 157,968 千円）	160,151 千円
○商品券発行事業費補助金	157,468 千円
○クラウドファンディング支援事業	2,683 千円
◎中心部商業活性化事業	2,534 千円
○人にやさしい商店街づくり事業費補助金	2,500 千円
◎中心市街地活性化事業	16,543 千円
○中心市街地活性化推進イベント事業	2,850 千円
○一番街多目的ギャラリー運営事業	8,620 千円
○中心市街地活性化協議会補助金	4,500 千円

◎事業者連携買い物支援事業	1,102千円
◎まちなか賑わい創造事業	20,130千円
○まちなか地域物産店事業費補助金	5,970千円
○まちなか賑わい支援事業	8,160千円
○くるめ光の祭典事業費補助金	6,000千円
◎商店街等活性化緊急支援事業	4,593千円
◎中心市街地再整備事業	9,502千円
○債権処理等支援事業	9,491千円

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
消費生活センター費	千円 2,724	千円 835	千円	千円	千円 1,889

◎消費生活対策事業	2,553千円
-----------	---------

目	決算額	左の財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
観光費	千円 250,791	千円 52,800	千円 1,700	千円 29,433	千円 166,858

### 久留米ならではの魅力ある観光の振興

◎伝統的町並み保存事業	163千円
◎観光施設整備管理事業	13,507千円
◎観光案内サイン整備管理事業	1,454千円
◎四季のイベント振興事業	9,245千円
○くるめ水の祭典	1,000千円
○観光活性化推進事業費補助金	3,400千円
○城島酒蔵びらき	1,600千円
○久留米つつじマーチ	3,029千円
◎観光プロモーション推進事業	14,373千円
◎インバウンド推進事業	117千円
◎地域資源観光活用事業	9,299千円
○観光案内機能強化事業	1,100千円
○エリア観光推進事業費補助金	212千円
○デジタル観光案内マップ機能強化事業	5,299千円
◎世界のつばき館等活用費	20,003千円
○世界のつばき館指定管理料	20,003千円
◎山辺道文化館費	9,493千円
◎田主丸ふるさと会館費	14,641千円

- ◎九州オルレ推進事業 1,190 千円
- ◎観光コンベンション振興事業 106,582 千円
- ◎M I C E 誘致推進事業 47,794 千円
  - 新しい生活様式対応観光・M I C E 支援金 43,756 千円

目	決 算 額	左 の 財 源 内 訳			
		国県支出金	地 方 債	そ の 他	一般財源
歴 史 資 料 館 費	千円 10,317	千円	千円	千円	千円 10,317

- ◎草野歴史資料館費 10,317 千円